

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(管理 運営用)

I 基本事項

		整理番号	1458
事業名	温水プール管理運営事業		予算科目
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課	会計
電話	0799 - 42 - 4994		目
		まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり
南あわじ市総合計画 施策体系		まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち(生きがい)
		施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設概要	設置目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 市内外を問わず施設利用者(有料)。	
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 老若男女を問わず、安全で快適、しかも年間を通して利用者が水中運動を通して健康保持、増進と体力向上の場として、またコミュニケーション醸成の場として活用される事を目的とする。	
	施設内容	(敷地面積、延床面積、構造、収容人数、駐車台数、付属施設など)	
		施設名称	南あわじ市温水プール
		所在地	南あわじ市八木寺内1612番地
		設置年度	平成 5 年度
		全体事業費	約 972,000 千円
		敷地面積	7148.90㎡
		建物構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上2階・地下1階
		延床面積	2201.86㎡
	施設	大プール(25m×17m8コース 日本水泳連盟公認プール) 他に子供用小プール、滑り台、ウォーターライダー、ジャグジー、トレーニング室、更衣室、ギャラリー(1・2階)	
	駐車場	(第1)49台、(第2)60台(第2駐車場賃借料342千円/年)	
稼働状況	(施設の利用状況、稼働状況)		
	【営業日】月曜日と年末年始以外(305日) 【18年度延入場者】53,583人(1日平均148人) (内訳)大人16,093人(内スクール生1,973人)・子供37,490人(内スクール生32,081人)		
施設設置根拠法令等	南あわじ市温水プール条例(温水プール運営委員会)		
開館時間	午前 10 時 00 分 ~ 午後 8 時 00 分		
休館日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝祭日 (その他) 年末年始		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託
		委託団体	(株)ニスポ シバ-人材センター
		委託内容	水泳教室運営 用務代行

Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

管理手法	(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)								
	<p>【職員】正規職員2名(健康広場兼務)、パート職員4名・1名(健康広場兼務)で1日12時間、週6日の勤務時間帯をローテーションで勤務</p> <p>【委託業種】水泳教室管理運営業務(株)ニスポ 用務代行業務(シバ-人材センター) 機械設備保守点検(山武ビルシステムカンパニー・洲本空調(株)・(株)藤井・関西電気保安協会・セコム(株)・セイワ(株)・サスイ・(株)アツツ) 施設設備清掃等(サスイ・中央美建(株))</p> <p>【修繕内容】施設機械設備(水温室温調整機械・水質保全機械、安全保全施設設備他)老朽化に伴い費用増加。</p> <p>【その他】夜間蓄熱電力使用ヒートポンプで水温室温を保持。水質は2台のろ過機と塩素、UVで保時管理は毎月1回の水質検査、塩素自動測定器で。現在UV故障停止中だが特に水質は問題なし。</p>								
	施設管理従事職員	市職員	2	人	委託団体職員	人	合計	2	人
使用料等	受益者負担について(料金体系、根拠法令など)								
	南あわじ市温水プール条例第9条、南あわじ市温水プール使用料に関する規則による								
	<p>【個人】当日券 小人300円・大人500円、回数券(11回) 小人3,000円・大人5,000円、6ヶ月会員券 小人7,000円・大人11,000円、年会員券 小人12,200円・大人20,400円</p> <p>【20人以上の団体】小人240円・大人400円</p> <p>【大会】1回20,400円</p> <p>【水泳教室】入会金1,000円、年会費2,000円、使用料(月額) 週1回 4,100円、週2回 5,100円 週3回 5,600円、週4回 6,100円、週5回 6,600円、親子コース 週1回5,100円、週2回 6,100円</p>								
減免措置(減免内容、根拠法令など)									
南あわじ市温水プール使用料に関する規則第3条による									
【減免内容】									
教育委員会が主催する場合(10分の10)									
市内の小中学校・幼稚園・保育所が授業又は保育(学校行事を含む)として使用するとき(10分の10)									
その他教育委員会が特に必要と認めるとき(教育委員会が定めた額)									
資源配分 インプット					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)				73,572	76,138	69,226	10,600	
	臨時等 person 費				9,707	9,305	10,019	0	
	需用費				17,662	19,828	17,583	0	
	役務費				1,649	1,515	1,614	0	
	委託料				34,004	33,843	35,111	8,600	
	使用料				1,624	1,624	925	0	
	工事請負費				7,833	8,820	3,733	2,000	
	その他				1,093	1,203	241	0	
	財源 (千円)								
	国								
	県								
	使用料				56,814	53,586	49,759	0	
	その他				1,205	954	980	0	
	一般財源[A]				15,553	21,598	18,487	10,600	
	人件費(正規職員)[B] (千円)				9,364	9,120	18,662	0	
	平均人件費(1日当り)				30.7	29.9	30.1	0.0	
事業量1(事業に要した日数)				305.0	305.0	310.0	0.0		
事業量2(事業に要した人数)				1.0	1.0	2.0	0.0		
年間経費([A]+[B])				24,917	30,718	37,149	10,600		
経費に関する補足説明	財源の「その他」は、自販機手数料・水着販売手数料								

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
設置目的達成度	成果指標目標値	人	53,850	52,000	51,000	53,000
	成果指標実績値	人	53,850	53,583	53,000	
	目標達成度	%	100.0	103.0	103.9	-
	成果指標	年間利用者数	単位	人		
指標算出の考え方	子供の水泳教室は少子化に伴い多少減少傾向にあるが、大人の健康増進と体力づくり及びコミュニケーション醸成の場として利用者増を見込んでいる。					
(達成度の分析、問題点・課題などを記入。)						自己評価 (5点評価)
この施設は、入場料が必要であり、またプールということで水着を着用しなければならないという独特なことから、他の体育施設のように気軽に利用はされていないが、これまで継続した人は健康増進、リハビリに確実に役立っている。ただ、どうやってプールまで来て頂けるかが課題である。年齢に関係なくできる運動であり、健康づくりを図ることに伴い国保及び介護保険の削減にも影響があるものと考えられる。						
						5
効率性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	年間経費	千円	24,917	30,718	37,149	10,600
	年間利用者数	人	53,850	52,000	51,000	53,000
	利用者1人当りコスト	千円	0.5	0.6	0.7	0.2
	延床面積	m ²	2201.86	2201.86	2201.86	2201.86
	面積1m ² 当りコスト	千円	11.3	14.0	16.9	4.8
(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)						自己評価 (5点評価)
温水プールという特殊な施設のため、湿気・塩素等の影響で施設機械設備の老朽化が著しく今後その補修が増えることは確実。水温水質等が不十分であれば、その分利用者は減となる。						
						5
必要性	行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。)					
少子化で子供の利用者が減少している。ただ高齢化が進む中健康増進に関心が高まり、水中運動の効能に認識が高まる中、今後プールへの関心、需用が増えるのではないかと考えられる。また団塊の世代が高齢になりより活用の場として期待される。プールは、スイミングスクール、一般個人、学校水泳部のほか、市外の者も使用しており、その使用に関して公平に調整をしている。また安全面は特に最優先で注意しなければならない。						
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析					
	現状では、スイミングスクールの運営により、コーチ指導のもと、学校では得られない遊泳活動で成長期の子供の体力体位向上に大いに役立っており、優秀な選手は全国大会に出場するなど、初期の目的を達成している。一方大人においては、年会員が増加し、毎日プールに入水することにより健康増進、体力向上及びコミュニケーション醸成の場として住民のニーズに効果を上げている。今後も継続して温水プールを提供することは肝要である。しかし行財政逼迫の情勢下、プールの運営も厳しくなっている中、今後は、指定管理者制度の導入を図ることにより、民間事業者に温水プールの管理運営を委託し、民間の持っている能力やノウハウを幅広く活用することに伴い、より一層の行財政コストの削減と市民サービスの向上を図ることができるものを推察される。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> <p>達成度</p> <p>必要性</p> <p>効率性</p> </div>						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性及び具体的な改善案	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他
	民間の活力の導入による内容の充実及び利便性・サービス向上等が期待されるので、指定管理者制度を導入する。	同左
見直しにより見直しの期待される効果	指定管理者により、民間の活力が期待でき、指定管理者がスイミングスクール等を直接運営することで、内容の充実及び利便性・サービス向上等が考慮できるものと期待される。	同左
廃止・委託の影響 (現状維持の場合も記入)	仮に 施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 【マイナス面】仮に施設が無くなった場合、1年を通して誰でも出来親しみやすく運動効率の良い水中運動の出来る場を失うことになる。健康づくりのため、プール施設は不可欠である。	
	仮に 外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 【プラス面】指定管理に向けて、民間の活力が期待できる。指定管理者がスイミングスクール等を直接運営することにより、内容の充実及び利便性・サービス向上等が考慮できるものと推察される。	
他の類似施設を持つ自治体の動向等	4月から、淡路市が3プールで指定管理を行っている。	